

# 省電力 CMOSミニカメラ

## SVR-30EP

対応  
PoliceBook3500  
PoliceBook70

140521K

SVR-30EPは撮像素子に省電力の1/4インチCMOS(有効画素30万)を採用したステレオイヤホンタイプの小型カメラです。PoliceBook/CVR-41の画像/音声入力として使える(PoliceBook70では4時間弱・1280x960/30fまたは4時間強・640x480/30f・倍容量電池BA-70Lの場合8時間弱および9時間弱・CVR-41では2時間強・720x480/30f固定)ほか、単体カメラとして9V電池1個でも3時間弱駆動させることができます。レンズは焦点距離3.59mm、画角は実測48度(190cm離れた位置で168cmの範囲を撮影)で、最低被写体照度が3ルクスです。

ケーブルの途中に円筒形の分岐部があります。この部分にNTSCとPALの切換マイクロスイッチ、マイク感度の高低切換スイッチがあります。小さいスイッチですので楊枝などを使う必要があります。マイクの穴自体はマイクロスイッチの反対側にあります。

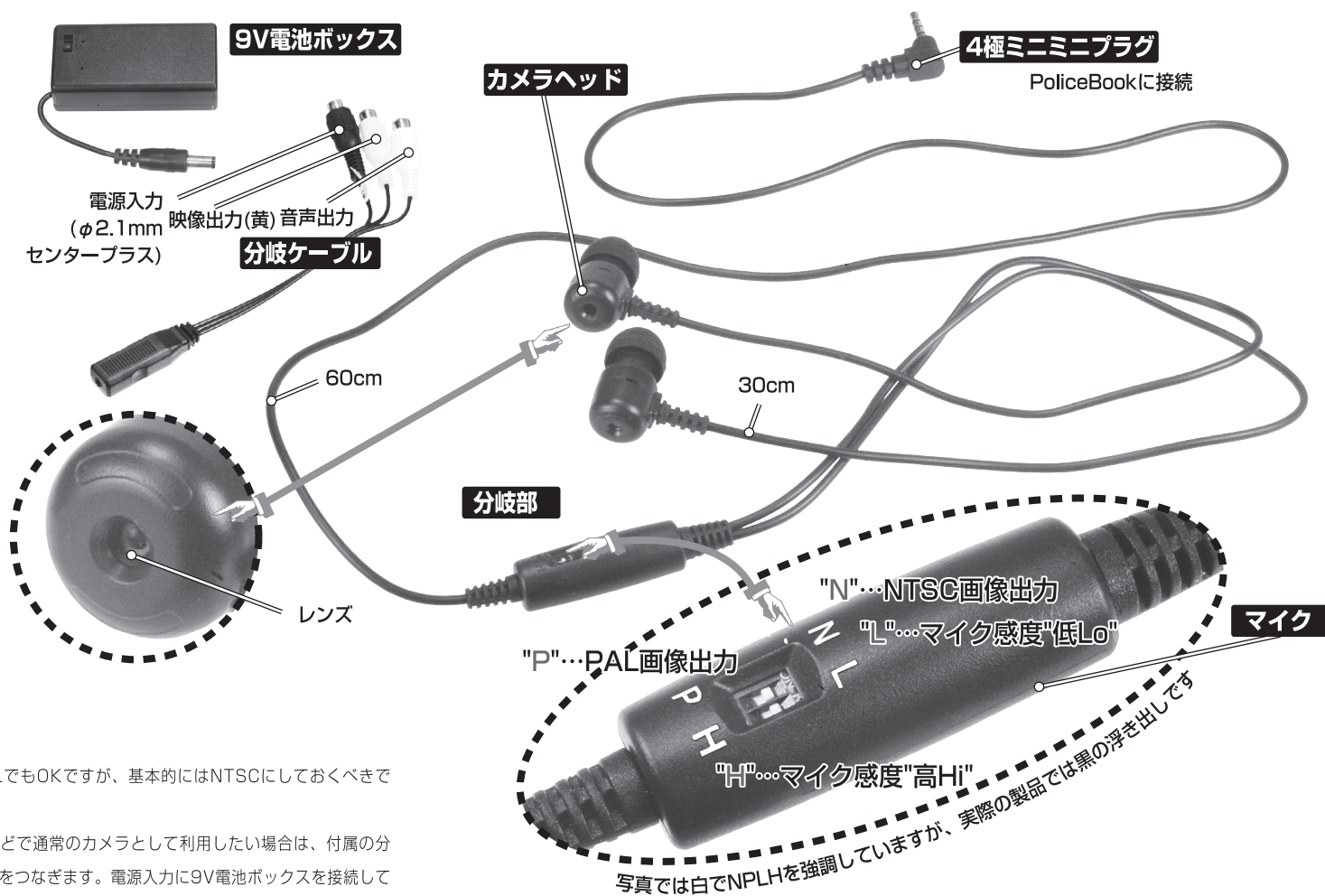
カメラは耳に入るイヤホン部分の片側にあり、側面を撮影します。

ミニミニプラグ4極の端子出力および形状はSVRシリーズと同一で、PoliceBook、CVR-41、MA100のカメラとして利用できます。PoliceBookに接続する場合、NTSC、

PALいずれでもOKですが、基本的にはNTSCにしておくべきでしょう。

監視用などで通常のカメラとして利用したい場合は、付属の分岐ケーブルをつなぎます。電源入力に9V電池ボックスを接続して駆動させます。電源入力はφ2.1mmセンタープラスです。アルカリ9V電池を使用して実測3時間弱(2時間52分)の電池寿命です。長時間使用したい場合は別売9VACアダプター(φ2.1mmセンタープラス)または単3電池6本の電池ボックス(アルカリ電池寿命実測19時間20分)を使用します。

ただし、単3電池の場合、電池ボックスが重く大きくなったことへの注意が必要です。置いて使う場合は心配はありませんが、ポータブルで使用する時、線のおりまげなどで電池ボックスに接続する側の線の内部被膜が破損し、ショートする事例が報告されています。このとき、電池が発熱し、ボックスの金属端子接触部分が変形するわけです。特にニッケル水素電池を使用したときは、瞬間電流が大きいため被膜が発火する危険性もあります。電池の異常発熱を感じたらただちに電池を外してください。単3電池×6の電池ボックスは使用者の責任の元にお使いください。



⚠ SVR-30EPを暗所で使用した場合、自動でモノクロに切り替わります。より快適な暗所撮影を行う為の仕様であり、異常ではありませんのでご安心下さい。

SVR-30EPのスペック	
●外寸	全長約1m(イヤフォン~分岐部:30cm/分岐部~ミニミニプラグ:60cm)
●重量	14g
●マイク	9g
●分岐ケーブル	18g
●9V電池ボックス	21g
●電源	電池寿命・消費電流/分岐ケーブル経由で9V・4極ミニミニプラグ経由で5V
●実測2時間52分(分岐ケーブル経由で9Vアルカリ電池時)・PoliceBook70との組合せで4時間弱(1280x960/30f/BA-70)~8時間弱(BA-70L)・CVR-41との組合せで2時間強(720x480/30f)・単体使用実測19時間20分(分岐ケーブル経由アルカリ単3×6本時)・5V130mA	●撮像素子
●1/4インチCMOS(有効画素30万)	●解像度
●480TV本	●最低照度
●3ルクス(F2.0レンズ時)	●レンズ系
●f3.59mm	●画角
●実測48度(190cm離れた位置で168cm)	●NTSC&PAL切換
●分岐部のスイッチ設定で画像方式の切換	●マイク感度切換
●分岐部のスイッチ設定で高(H)低(L)の切換	●製品構成
●SVR-30EP本体・分岐コード・9V電池ボックス	

"N"...NTSC画像出力  
"L"...マイク感度"低Lo"  
"H"...マイク感度"高Hi"  
写真では白でNPLHを強調していますが、実際の製品では黒の浮き出しです